

令和7年度 中野区立緑野小学校 学校経営方針

教育目標

「すすんで学び 表現する子（学び合う子）」
「思いやりをもって 行動する子（かかわり合う子）」
「明るく元気に 運動する子（きたえ合う子）」
～わくわく緑野小学校～

目指す児童像 ～子どもたちが「わくわく」～

- 自分の考えをもち、表現し、学び合い、考えを広げ深める児童
- 思いやりの心や認め合う心をもつとともに、自尊心と自律心を高める児童
- 運動を楽しみ挑戦するとともに、健康管理できる児童

目指す学校像 ～学校が「わくわく」～

- 学校の使命を理解し、児童のために全力を尽くす学校
- 課題解決を図り前進し続ける学校
- 「緑野小に子どもを通わせて良かった」「緑野小に行くのが楽しい」と思われる学校

目指す教師像 ～先生が「わくわく」～

- 教師としての使命を理解し、「チーム緑野」で児童のために全力を尽くす教師
- 社会の変化に応じた「ミッション感覚」をもち、学び続ける教師
- 地域・保護者とともに子どもを育む教師

【重点1】

すすんで学び 表現する子
～確かな学力の定着～

A 学習規律の徹底

- ・時間、学習用具、返事、発表、ノート等の学習規律の徹底を図る。

B 基礎・基本の定着と「主体的・対話的で深い学び」

- ・学力調査分析により児童の学習課題を的確に把握する。
- ・AIドリルを系統的に活用し、基礎・基本の定着を図る。
- ・自分の考えをもち、伝えあい認め合う授業づくりをする。

C ハイブリット型の推進

- ・デジタルとアナログ、個別と協働をバランスよく組み合わせた授業を実施する。

【重点2】

思いやりをもって 行動する子
～豊かな心の育成～

A 生活規律の徹底

- ・挨拶、時間、持ち物、集団行動等の生活規律の徹底を図る。

B 人権尊重

- ・多様性を認め合い、共生する心情を育てる。
- ・「苗字＋くん・さん」で呼称し、授業中は「です・ます」で話す等、教師の言語環境を整える。

C 連携体制による課題の未然防止・早期発見・早期対応

- ・多様なスタッフとの連携体制を充実させ、いじめ、不登校等の課題について、未然防止・早期発見・早期対応を図る。

【重点3】

明るく元気に 運動する子
～健やかな体の育成～

A 体力調査分析に基づく授業改善

- ・体力調査結果分析を、授業改善に生かす。
- ・休み時間は外遊びにより運動習慣を定着させる。

B 健康教育・食育の推進

- ・養護教諭と連携した健康教育を推進する。
- ・栄養士と連携した食育の推進を推進する。

知・徳・体のバランス

【重点4】学校力の向上

A PDCA サイクルによる課題解決

- ・学校評価に基づき、保護者・地域とともに学校の課題解決しながら、学校経営方針の実現を図る。

B 教師の授業力向上

- ・「人権教育推進校」として、互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある児童を育成する。
- ・1分間 OJT または OJT を一人年2回以上実施する。
- ・自己申告等の授業公開では、指導案を基に見合い、助言し合う。

【重点5】連携力の向上

A コミュニティ・スクールの設置と運営

- ・保護者・地域・学校が情報・課題を共有し、学校運営の改善と児童の健全育成のために協働する。

B 保幼小中連携教育の推進

- ・幼稚園・保育園・中学校との連携を通して成長の連続性を把握し、教育の相乗効果を目指す。

C 保護者・地域への情報発信

- ・HP、各種便り、学校公開等を通して、保護者・地域に積極的に情報発信し、学校理解促進を図る。
- ・保護者・地域に対し4S（誠実・正確・スピード・スマイル）で対応する。

教育理念

チーム緑野（組織）・授業力向上による学力向上（授業力）・安心・安全（人権尊重、危機管理）・つながり（連携）